

令和8年度第3回教育研究評議会議事録

日 時	令和8年6月3日(水)
	開会 午後3時00分
	閉会 午後5時12分
場 所	第1会議室(オンライン会議併用)
出席者	榮坂学長、長谷山理事長、米澤理事、村田副学長、川口副学長、川村副学長、 升井副学長、星野副学長、原田教授、大野教授、井上教授、新井教授、 野田教授、内島教授、曾根教授、成田事務部長、吉田教授、林田教授、 小野教授、中村教授、森田教授
欠席者	富山教授
陪 席	伊藤監事、柏木監事、布施監事、近藤監事

議 事

1 国立大学法人評価における「達成状況報告書」について

学長から、令和8年6月2日開催の機構本部経営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、機構本部安浦経営企画課長から、別紙(資料8)に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

また、本件について、大学改革支援・学位授与機構への提出期限である6月30日までに修正等の必要が生じた場合の対応は、理事長に一任することが併せて承認された。

2 教員の選考について

(1) 地域国際系助教選考委員会の設置について

学長から、地域国際系長から教員選考の申し出があり、令和8年6月1日開催の運営戦略会議の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料9)に基づき選考委員会の設置について説明があり、種々議論の結果、原案のとおり承認された。

なお、審議において次の質疑応答があった。

・教員選考申出書を見るに、専門分野について、農業工学、機械工学との記載があるが機械電気系での採用ではないのかとの質問があり、地域国際系に設けている関連科目の担当であること、地域連携・社会実装を担う人事と位置づけているため地域国際系での選考としている旨の回答があった。

・今回のように系を跨いでいるような採用をする場合、カリキュラム等に影響が出るのではないのかとの質問があり、前提として、退職者の後任を機械的に補充する人事は現在行っていないこと、また教員人事は全学的・戦略的な観点で進めるものであることから、教員の退職等によりカリキュラムに影響が出る場合には、将来計画及びカリキュラム構想に基づいて、系長から人事担当副学長に相談いただきたい旨の回答があった。

3 非常勤講師の選考について

学長から、先進工学科長、情報通信系長、機械電気工学プログラム長、マネジメント工学プログラム長及び工学専攻主任から非常勤講師の選考に関する申し出があった旨説明の後、企画総務課長から別紙(資料1-1~1-5)に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4 教員の懲戒について

学長から、教員の懲戒処分のうち、懲戒事由が教育研究など教員の職務遂行に関わるものについては、北海道国立大学機構職員懲戒規程第2条第6項により、当該教員が主として勤務する大学の教育研究評議会に意見聴取を行うこととされている旨説明の後、企画総務課長から、別紙（資料2-1）に基づき、懲戒事案の概要等、別紙（資料2-2）に基づき機構の処罰に関する種類及び程度について説明があった。

引き続き、川村副学長から、別紙（資料2-3～2-8）に基づき本事案に係る審査経緯及び処分案等について説明ののち、意見聴取が行われた。その後、本会議の意見聴取を踏まえ、懲戒審査委員会において本事案に係る審査報告書を作成の上、長谷山理事長に提出し、懲戒処分について機構の役員会に附議する旨の説明があった。

報告事項

- 1 第4期中期目標期間における自己点検・評価について（企画総務課長）
（資料3-1～3-2）
- 2 令和8年度教員活動経費の配分について（資料4）（川口副学長）
- 3 地域マネジメント工学プロジェクト担当指導資格審査について（資料5）（研究協力課長）
- 4 北見工業大学における競争的研究費の応募資格に関する要項（案）の制定について（資料6-1～6-2）（研究協力課長）
- 5 研究推進センター等の自己評価について（資料7）（説明なし）
- 6 その他

次回教育研究評議会 令和8年7月8日（水）午後3時00分開催予定